



## 野球部 6年ぶりに夏の大会に出場

7月2日(木)の神奈川新聞のスポーツ欄の特集記事に本校の野球部が取り上げられました。

「新時代を拓く 高校野球 公立の挑戦」というシリーズの記事です。記事はこのように書き出されます。「着慣れないユニホームは真っ白。掛け声はばらばら。ノックでは何度もグラブからボールがこぼれ落ちる。横浜緑園総合の練習は少し格好が悪い。ただ、白球を追う選手の表情は強豪のそれと何ら変わらない。」

本校野球部は慢性的に部員不足でした。全生徒の7割程度が女子であることもあり、男子の部活動の多くはぎりぎりに近い人数です。野球部も9人そろふことはなく、しかし、その時々部員は野球部のバトンをリレーしてきました。

今年のチームも3月の時点では3名でした。先ほどの神奈川新聞の記事から引用します。

「転機は春だった。横浜旭陵との合同チームで出場した3月の県大会地区予選。初めての公式戦で『人のいる球場でプレーする楽しさ』を知った。」「『部員が集まれば夏の大会に出られます。ぜひ一緒に大会に出てください』。入学式の後、校門で手製のポスターを手に声をからした。部活動紹介では1年生の全生徒を前に体育館の壇上で声を張った」「熱意は伝わった。選手8人、女子マネージャー2人。計10人の1年生が仲間に加わった」。

顧問の本間先生と飯塚先生の指導を受け、練習試合も重ねていきました。神奈川新聞の記事はこう続けます。「練習試合は連敗続き。40失点を喫した試合もある。ただ、いくら取られようとも諦めない。キャプテンの田中は『絶対に完封だけは避ける。やられたらやり返すのがうちのスタイル』と胸を張る」。

7月12日(日)午前11時から横須賀スタジアムで逗葉高校と対戦しました。まずはこの日を迎えることができたことを喜びました。ぎりぎりの部員数で怪我なくグラウンドに立てたこと、吹奏楽部やチアバトン部が応援に参加してくれたこと、本当にうれしかったです。

試合結果は1対11で5回コールド負けでしたが、多くの方の応援を受けながら、グラウンドで野球の楽しさや苦しさを味わうことができたはず。試合後の選手の目には涙はありま



せんでした。すっきりとした顔で応援に駆け付けた方々にお礼を述べていました。

新チームは新たなメンバーも加わりすでに始動しています。公式戦の1勝を目指し、伝統を作る一步を踏み出しています。

## 横浜中地区交通安全標語で表彰

毎年、県内の各地区で交通安全についての高校生大会や保護者集会が開催されます。それに伴ってポスター・作文・標語が募集され優れたものが表彰されることとなっています。

このたび、横浜中地区の標語の部で地区で2位に相当する優秀作品に1年3組の宮崎萌さんの作品が選ばれました。正式な表彰は11月13日の高校生交通安全大会で行われます。作品は、

「思い出せ 初めて乗った あの気持ち」  
です。おめでとうございます。

## 写真部の活躍～写真コンテストから

写真部の受賞の報告です。県内の高校生の出品による写真コンテストが行われ、62校、1705点の応募作の中から優秀作品が表彰されています。推薦は1点、特選は13点、入選は17点、佳作は64点です。

3年7組の岡田真裕華さんが入選、2年8組の番場ロセルさんと1年2組の小池里奈さんがそれぞれ佳作となりました。

1700を超える作品の中から選ばれたわけですから、立派なものです。今後も活躍を期待したいと思います。緑総祭での展示が楽しみです。



## 8月6日(木)に横浜中地区合同説明・相談会

明治学院大学横浜キャンパス(戸塚)において10時から15時まで、横浜中地区の県立高校17校、市立高校2校、私立高校27校が集って合同説明・相談会を開催します。本校は22名の生徒スタッフによる学校説明を行います。生徒の様子を知っていただくことで、学校の魅力を際立たせたいと思います。

校長 遠藤 誠